
資料編

I 用語解説

(五十音順)

	用語	解説
あ	ICT(アイシーティー)	Information and Communication Technology の略で、情報や通信に関する技術の総称。
	悪性新生物	細胞が無秩序に増えながら周囲にしみ込むように広がったり浸潤(しんじゅん)、血管などを介して体のあちこちに飛び火して新しいかたまりを作ったり(転移)する腫瘍(しゅよう)のこと。放っておくと全身に広がり、体に様々な悪い影響をもたらすため、ほとんどの場合、治療が必要となる。悪性新生物のことを「がん」ともいう。
	ウェルビーイング(well-being)	身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念。
	エシカル消費	消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む民間事業者を応援しながら消費活動を行うこと。
	オーラルフレイル	口腔機能(かんで飲み込む、言葉を発する、表情を作るなど)が虚弱(きょじゃく)すること。老化に伴う様々な口腔状態の変化を放置しておくことで、口腔機能の低下から心身の機能低下までつながる一連の過程のこと。
か	カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡(きんこう)させること。国では、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言している。
	カーボンフットプリント	製品やサービスの原材料調達から廃棄、リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量を二酸化炭素排出量に換算し、製品に表示された数値もしくはそれを表示する仕組み。
	共食	誰かと一緒に食事をする。誰かには、家族全員、家族の一部(親など)、友人、親戚、地域の人などが含まれる。また、共食には、一緒に料理を作ったり、会話を楽しむことも含まれる。
	COOKPAD(クックパッド)	クックパッド株式会社が運営する、レシピや献立等の情報を投稿・閲覧するインターネット上のコミュニケーションサービス。
	健康寿命	健康上の問題で、日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。
	健康づくりサポーター	市民が住み慣れた地域で、笑顔で、心豊かに、いきいきと生きがいをもって暮らせるよう、健康づくり活動を行っている団体。市民から構成され、現在151名(令和7年(2025年)6月時点)のサポーターが活動している。
	健康ポイントてくポ	60歳以上の市民の方を対象とし、スマートフォンアプリを使って、歩いたり、バランスよく食べたり、ボランティアをしたり、脳や体にいいことをして、ポイントをためる仕組み。ためたポイントは市内の店舗で使用することができる。
	口腔乾燥症	唾液の分泌が低下して、口が乾いた状態のこと。
	誤嚥	食物などが、なんらかの理由で、誤って喉頭と気管に入ってしまう状態のこと。
	誤嚥性肺炎	口の中の細菌が、唾液や食物、あるいは胃液などと一緒に気管に誤って入り込むことにより発症。
	孤食	孤食な食事という意味で、家族がおらず一人で食事をとることや、家族がいるにもかかわらず一人で食事をする。
	子ども食堂	地域住民等による民間発の取組として無料又は安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する場のこと。家庭における共食が難しい子どもたちに対し、共食の機会を提供する取組が広がっている。
さ	歯周病	歯の周囲の汚れ(プラーク)のなかに含まれる細菌の毒素で歯ぐき(歯肉)に炎症が起き、歯を支える骨(歯槽骨)が溶けていく病気。
	市民活動団体	地域で食育に関する普及啓発を行う団体や地域食堂・子ども食堂、NPO など。
	食品ロス	まだ食べられるのに廃棄される食品のこと。

	用語	解説
さ	食料自給率	国の食料供給に対する国内生産の割合を示す指標。重量で計算することができる品目別自給率と、食料全体について共通の「ものさし」で単位を揃えることにより計算する総合食料自給率の2種類がある。このうち、総合食料自給率は熱量で換算するカロリーベースと、金額で換算する生産額ベースがある。
	生活習慣病	生活習慣病とは、食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称。日本人の死因の上位を占める、がんや心臓病、脳卒中は、生活習慣病に含まれる。
	摂食・嚥下(せっしょく・えんげ)	食物を認識してから口に運び、取り込んで咀嚼して飲み込むまでのこと。
た	タベスケHachioji(ハチオウジ)	食品ロス削減を目的としたマッチングサービス。お店が、消費期限・賞味期限が近付いた食品や規格外野菜、急なキャンセルにより余った商品など廃棄になりそうな商品をアプリ、ウェブサイトにて割引価格で出品し、消費者が出品された商品を購入する仕組み。
	ダンボールコンポスト	基材を入れたダンボール箱に生ごみを入れて、たい肥を作る方法のこと。
	デジタル・トランスフォーメーション(DX)	Digital Transformation の略で、デジタル技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。
	特定健康診査	糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣を改善するための特定保健指導を必要とする者を、的確に抽出するために行うもの。
	特定保健指導	特定健診の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による効果が多く期待できると判定された人に対して行われる健康支援であり、対象者は、健診結果に応じて「積極的支援」、「動機付け支援」、「情報提供」の3つに区分され、一人ひとりの身体状況や生活環境などに合わせて、医師・保健師・管理栄養士などの専門家が、生活習慣を見直すためのサポートを行う。
は	HACCP(ハサップ)	Hazard Analysis and Critical Control Point(危害分析重要管理点)の略で、食品の衛生管理手法の一つ。製造における重要な工程を連続的に監視することによって、一つひとつの製品の安全性を確保しようとする衛生管理手法。
	はちおうじ健康応援店	市内の身近な飲食店を利用した際に、気軽に健康になってほしいという願いから、野菜摂取や減塩等を軸に健康に関するサービスや情報提供の発信等を行っている飲食店のこと。
	パンデミック	感染症が世界的に大流行すること。
	BMI(ビー・エム・アイ)	Body Mass Index の略で、肥満の判定に用いられる指標のこと。体重(kg) / [身長(m)] ² で算出される。 【18.5未満=やせ 18.5~25.0未満=標準 25.0以上=肥満】
	PBL 授業(ピー・ビー・エル)	Project-Based Learning(問題解決型学習/課題解決型学習)の略で、生徒が自ら問題を見つけ、その問題を自ら解決する能力を身につける学習方法のこと。
	フードドライブ	家庭で余っている食品を回収拠点(スーパーや自治体など)やイベントに持ち寄り、地域の福祉施設や子ども食堂、生活困窮者支援団体などに寄付する活動のこと。
	フードバンク	企業や農家、家庭から発生する、まだ食べられるのに、余っている食品を寄贈してもらい、食べ物を必要としている人のもとへ届ける活動及び団体のこと。
	フレイル	Frailty(虚弱)の日本語訳。健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能、口腔機能等の低下が見られる状態のことを指すが、適切な治療や予防を行うことで健康な状態に戻ることも可能である。
	文化庁・食文化ミュージアム	文化庁の事業で、食文化への学びや体験の提供に取り組む博物館、道の駅、食の体験・情報発信施設等に関する情報を、ウェブ上の仮想ミュージアムで一体的に発信している取組のこと。
	文化庁・100年フード	文化庁の事業で、多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、地域で世代を越えて受け継がれてきた食文化を、100年続く食文化「100年フード」と名付け、継承していくことを目指す取組のこと。

	用語	解説
ま	民間事業者等	飲食店、スーパーマーケット、弁当・総菜屋、企業など。
	メタボリックシンドローム	内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中などになりやすい病態を指す。
ら	ライフコースアプローチ	胎児期から高年期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた考え方のこと。
	ライフステージ	幼年期、少年期、青年期、壮年期、中年期、高年期などの生涯の各時期のこと。結婚、子育て・教育、子どもの独立などの家族の形態によっても変化する。

2 第3期計画の評価

(1) 事業評価

施策の柱	食育活動の内容		取組数
	施策	取組	
1 すべてのライフ ステージに 応じた食育の 「更なる土壌 づくり」	1-1 幼年期(0歳~4歳)と その保護者及び妊婦	妊娠期の健康・食生活の支援	1
		乳幼児期の望ましい食生活の推進	2
		保育園・幼稚園における食育の推進【重点】	7
		地域・家庭への食育の推進	3
	1-2 少年期(5歳~14歳)	小学校・中学校における食育の推進【重点】	9
		子どもを中心とした食育の推進	4
		歯科の観点からの食育の推進	1
	1-3 青年期(15歳~24歳)	地域・家庭への食育の推進	4
		大学等における食育の推進【重点】	4
	1-4 壮年期(25歳~44歳)	若い世代における食育の推進	1
		生活習慣病等の疾病予防の推進	3
		多様なライフスタイルに合わせた支援【重点】	2
		望ましい食生活を実践できるための支援	3
	1-5 中年期(45歳~64歳)	次世代の食育の担い手となるための支援	1
生活習慣病等の疾病予防の推進【重点】		5	
多様なライフスタイルに合わせた支援		2	
1-6 高年期(65歳以上)	望ましい食生活を実践できるための支援	1	
	生活習慣病等の疾病予防の推進	3	
1-7 障害者の食育の推進	望ましい食生活を実践できるための支援【重点】	2	
2 食を「育てる」 「まもる」	2-1 食品の安全・安心の確保	障害者における食育の推進	4
		食の安全に関する知識と理解の推進	3
	2-2 食文化の伝承	食の安心の確保	3
		郷土料理・家庭料理や食文化の伝承	5
	2-3 地元の農産物を活用した 交流・体験	「ふれる」よろこびを味わう場の提供	1
		直売所や販売店での地産地消の推進	3
		学校における地産地消の推進	5
	2-4 食の循環の理解・促進	食品ロスの削減【重点】	3
食の循環システムの実施		5	
3 オール八王子 で食育を 「つなげる」 「むすぶ」	3-1 食に関する普及・啓発	食による支援の実施	1
		食に関する情報の提供	4
	3-2 食に関する環境整備	食が集まる場での情報の提供	2
		食育推進の担い手の育成・支援【重点】	2
		関係団体との連携・協働	3
		食環境整備の推進	1
	給食施設の栄養管理の質の向上	1	
合計	13施策	35活動	104

第3期計画では、13の施策に基づく35の活動、104の取組を実施し、多くの取組がA評価となっています。一方、B評価は、目標値の設定が高く、達成に遅れがありました。D評価は、新型コロナウイルス感染症の影響により評価不能となっています。

令和6年度 (2024年度)評価	
A：順調	101
B：遅れあり	1
C：達成困難	0
D：評価不能	2

(2) 評価指標の調査結果

第3期計画における目標値の達成状況は、下記の表のとおりです。

基本目標		評価指標		RI調査 (%)	R6調査 (%)	目標値 (%)
1	望ましい食 習慣を身に つける	朝食を食べていない人の 割合	幼稚園・保育園	1.1	1.1	0%に 近づける
			小学生	0.9	1.9	
中学生	4.4		7.8			
高校生	13.3		17.6			
大学生	25.6		37.7			
一般	13.6		13.5			
		健康のために「食生活に気をつける」ことを 心がけている人の割合		63.6	59.4	90
2	食の基本的 な知識、ス キルを養う	食事の際に「いただきま す」「ごちそうさま」の 挨拶をする人の割合	幼稚園・保育園	97.3	95.6	100
			小学生	97.8	94.8	
			中学生	95.3	95.8	
			高校生	91.7	93.7	
			大学生	91.9	98.7	
			一般	83.8	85.3	
				「食品ロス」削減のために意識して実践して いる人の割合		94.7
3	食を通じ て、家族、 地域、自然 とつながる	平日の夕食に「ひとり で」食事をする子どもの 割合	幼稚園・保育園	0.2	0.8	0
			小学生	1.5	0.6	
			中学生	4.7	6.2	
			高校生	11.9	12.5	
				八王子産の農産物を購入している人の割合		42.1

3 計画策定の経過

年	月	項目	主な内容
(2024年) 令和6年	10月25日(金)～ 11月13日(月)	市民意識調査	・市内に在住する18歳から74歳までの男女2,000名及び市内の大学生250名を対象に第4期八王子市食育推進計画に係る市民意識調査を実施
	10月25日(金)～ 11月13日(月)	子ども意識調査	・幼稚園・保育園児、小学生、中学生、高校生を対象とした子ども意識調査を実施
(2025年) 令和7年	5月22日(木)	第1回八王子市食育推進会議	・第3期八王子市食育推進計画の令和6年度(2024年度)実績及び評価について ・第4期八王子市食育推進計画について
	6月13日(金)	第1回第4期八王子市食育推進計画策定ワークショップ	・八王子市の食育の現状について ・将来像について
	7月10日(木)	第2回八王子市食育推進会議	・第4期八王子市食育推進計画の骨子(案)について
	7月18日(金)	第2回第4期八王子市食育推進計画策定ワークショップ	・八王子の食育に必要だと思ふ取組について
	7月25日(金)	第1回食育推進計画庁内連絡会(書面開催)	・各所管課の取組について

年	月	項目	主な内容
(2025年) 令和7年	8月28日(木)	第3回八王子市食育推進会議及び第4期八王子市食育推進計画策定ワークショップ合同開催	・ワークショップの検討結果と展望について
	10月1日(水)	第2回食育推進計画庁内連絡会(Web開催)	・第4期八王子市食育推進計画の素案について
	10月9日(木)	第4回八王子市食育推進会議	・第4期八王子市食育推進計画の素案について
	12月15日(月)～ 1月15日(木)	パブリックコメントの実施	・意見提出者:4名 ・意見件数:5件
(2026年) 令和8年	1月30日(金)	第4回第4期八王子市食育推進計画策定ワークショップ	・共創による食育に向けて
	2月3日(火)	第3回食育推進計画庁内連絡会(書面開催)	・第4期八王子市食育推進計画の原案について
	3月16日(月)	第5回八王子市食育推進会議(書面開催)	・第4期八王子市食育推進計画の推進に向けて

■八王子市食育推進会議名簿

	所属団体	氏名
1	帝京大学 スポーツ医科学センター	葛西 真弓
2	一般社団法人 八王子市医師会	加藤 直樹
3	公益社団法人 東京都八南歯科医師会	野下 清子
4	東京都八王子食品衛生協会	勝田 芳子
5	八王子集団給食協議会	松本 賢一
6	八王子市農業委員会	峰尾 幸代
7	公益社団法人 東京都栄養士会八王子支部	岡部 貴代
8	八王子管理栄養士の会 ダイエタリー・フレンズ	岩瀬 政子
9	特定非営利活動法人 団地応援隊	小池 さとみ
10	八王子市私立保育協会	内藤 里美
11	八王子市私立幼稚園協会	浦野 真沙子
12	八王子市公立小学校長会	松久保 雅和
13	八王子市立中学校 PTA連合会	篠原 由美子
14	八王子市健康づくりサポーター	田川 富美子
15	公募市民	町田 淳一
16	公募市民	三宅 久美

■八王子市食育推進計画庁内連絡会名簿

	部	課
1	市民活動推進部	学園都市文化課長
2	生活安全部	防災課長
3	福祉部	高齢者いきいき課長
4	福祉部	高齢者福祉課長
5	福祉部	障害者福祉課長
6	健康医療部	成人保健課長
7	健康医療部	大横保健福祉センター担当課長
8	健康医療部	東浅川保健福祉センター担当課長
9	健康医療部	南大沢保健福祉センター担当課長
10	健康医療部	生活衛生課長
11	健康医療部	保健対策課長
12	子ども家庭部	子どものしあわせ課長
13	子ども家庭部	子どもの教育・保育推進課長
14	子ども家庭部	青少年若者課長
15	産業振興部	農林課長
16	環境部	資源循環課長
17	学校教育部	学校給食課長
18	学校教育部	教育指導課長
	事務局	健康づくり推進課

第4期八王子市食育推進計画

令和8年(2026年)3月発行

発行:八王子市

編集:八王子市健康医療部(八王子市保健所)健康づくり推進課

〒192-0046

東京都八王子市明神町三丁目19番2号 東京たま未来メッセ 庁舎・会議室棟5階

Tel:042-645-5112 Fax:042-644-9100

E-mail:b662200@city.hachioji.tokyo.jp

